

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 羽島高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年10月10日(金) 13:30～15:00
- 3 開催場所 羽島高等学校小会議室
- 4 参加者

会 長	兼松 博之	中部学院大学専任講師
副会長	大竹 恵子	国際ソロプチミスト羽島会長
委 員	高橋 浩之	竹鼻中学校長
	山田 昌子	本校育友会副会長
	渡邊 早示子	羽島の未来を築く会理事
	渡辺 憲治	羽島商工会議所専務理事兼事務局長
	渡邊 丈展	本校同窓会長(欠席)
学 校 側	高橋 範行	校長
	柴田 祐一	教頭
	柳原 英紀	事務長

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 校長挨拶
- (2) 学校の取り組みについて、校内、校外行事について説明
- (3) 学校アンケートの結果について説明
- (4) 制服の自由購入品(半袖ポロシャツ)の作成について説明し、承認
- (5) 本校への意見、提言

意見1: Sクラブのねんりんピックへのボランティア活動、選手団のお出迎えの際に、自分たちで作ったキーホルダーを渡すことについて、自分たちで何かをすることが素晴らしい。言われて、やらされてではなく、自分たちから何か行動を起こすことは成長につながる。

意見2: 「ぎふ自衛隊音楽まつり」での吹奏楽部の活躍を見た。生徒が楽しそうに演奏している姿は素晴らしい。中学生は、楽しそうに活動している姿にあこがれ、自分もやりたいと考える。大垣女子短期大学・羽島高校・竹鼻中学校の吹奏楽演奏会も企画しているようで協力をお願いしたい。また、吹奏楽部だけでなく、羽島高校の野球部で頑張りたいという生徒もいる。先日、授業を参観した際には、落ち着いて授業に取り組む様子もわかり、授業でも素晴らしい取り組みをしている。

意見3： 今、アンケートの回答方法を QR コードから紙ベースに戻すことは難しかったと思う。
集計が大変であるが、解答数が倍増したことは素晴らしい。

「ICT 機器を活用した学習支援」の数値が低く今後の課題。

⇒ 生徒のタブレット管理の問題もあり遅れているが、今後の重要課題として進めていく。

意見4： 学校アンケートの質問項目は学校で決めるのか。

⇒ 学校独自項目以外は県から出された質問項目である。

意見5： 「BYOD」についてはどのように進めているのか。

⇒ まだ全てが決定ではなく、県教育委員会の指示に従いながら進めている。「BYOD」について、新しい運用ルールなどを検討しているところである。

意見6： 「BYOD」について、大学では貸与から、各個人持ちに変更しており、「BYOD」は時代の流れである。学生は、スマートフォンでやれてしまうという意見もあったが、メールやLINEの文書ではなく、改行や句読点を正確に使う文書を学ばせるために必要である。

意見7： 学校アンケートでは、生徒の肯定的な評価が多く良い。生徒が自分の学校に誇りをもてるようになっており、生徒も教員も喜んでいる。先生方の努力を、生徒は分かっている。メディアに取り上げられることは大変良いこと、アピールは大切である。

意見8： 「イタセンパラの保全活動」企業とのコラボなど、どのようにしたらこのような素晴らしい活動ができるのか。中学生は受け身で自分たちから発信できない。

⇒ 3年生の課題研究の授業で行っている。地域交流やボランティア活動の機会を活かし企業へのアピールとアプローチを行っている。企業との交流で、生徒が学習することはとても多く良い機会ととらえている。

意見9： 1年生の制服が変わったが、卒業生のものを譲ってもらい使用することは可能か。

⇒ 素材やデザインなど変更されており、新しい制服でお願いしたい。

意見10： 地元の広報誌に取り上げてもらうのは、どのようにしているのか。

⇒ 行事やイベント参加の時に本校から声をかけ発信している。

意見11： 羽島高校が部活動だけでなく色々な事で頑張っていること、アピールする資源が増えている。羽島市内の企業説明会参加希望企業も急増している。HP や Instagram など爆発的な勢いのあるものも利用し発信して欲しい。

6 会議のまとめ

- ・第2回学校運営協議会では、「本校の取り組みについて」、「学校アンケートの結果」に、肯定的な意見や、本校の教育活動を高く評価していただける意見が多くいただけた。
- ・様々な視点の意見をいただき、今後の学校運営に生かしていきたい。